

平成30年度 岩手県立宮古商業高等学校経営計画

H30. 4. 26

校長名：高橋正浩

1 現状把握及び将来展望	(1) 学校に対するニーズ	対 象			
		児童・生徒	保護者	地域住民	就職・進学先
	(2) 学校に影響を与える変化	<ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災津波（H23. 3. 11）、台風10号（H28. 8. 30）被害からの復興（国・県・市町村の復興政策、県教育委員会の復興に向けた施策） 経済状況の変化、産業構造・雇用環境の変化への対応 高度情報化社会、グローバル化、産業技術（AI等）の進展、高校教育改革の進行 少子高齢化と人口減少社会、教育に対する関心と期待の多様化・高度化 新たな高校再編計画 			
	(3) パートナーとの関係	パートナー			
		P T A	教育委員会	地域社会等	
		<ul style="list-style-type: none"> P T A と協働による学校経営の推進 学校行事、P T A 行事への積極的な参加と支援 学校情報の共有化 	<ul style="list-style-type: none"> 全県の課題としての経営計画の共有、実践 被災生徒への各種支援 教育環境の整備、充実 	<ul style="list-style-type: none"> 地域行政及び産業界との連携、人材の育成と確保 地域、保護者、同窓会等との連携 	
2 目指す学校像	<p>(1) 本校の目指す生徒像 本校生徒は高校生活を通して、民主社会の有意な形成者となるため、必要な教養と資質を養わなければならない。そのためには毎日の学習に真摯に取り組むことはいうまでもないが、本校校訓である「尽心」・「礼節」・「中庸」を備えた人間となるように学校生活を送らなければならない。</p> <p>(2) 教育目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 意欲的に問題に取り組み、自分で考え抜く態度を養う。 基本的な生活習慣と道徳心を身につけ、行動を自律できる能力を養う。 勤労意欲と実践力を育て、自己を実現させる能力を養う。 				
3 今後の取組方針	<p>(1) 基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> 創立百周年に向け、学校教育全般の活性化を推進する。 社会の変化に対応できるように基礎学力の定着、学力の向上を図り、商業に関する高度な専門知識の習得を目指す。 生徒が主体となって取り組む学校行事や部活動等の充実を図り、豊かな人間性や社会性を育む。 学校に関係する機関や地域と連携し、商業教育・キャリア教育の充実と深化を図り、地域社会の期待に応えられる人材を育成する。 復興教育の推進を図り、防災意識を強化する。被災した生徒へ寄り添い、様々な場面での支援を継続する。 家庭と地域との協働による学校運営を推進し、皆から愛され必要とされる学校を目指す。 				

＜関係分掌＞

【教務】
【図書】

【商業】

【生徒】

【進路】
【学年】

【保健】
【学年】
【事務】

【総務】
【教務】

(2) 平成30年度重点目標

① 学習指導の充実：基礎基本の定着を確実に。観点別評価の着実な推進を実現し、分かる授業のため工夫と改善を繰り返しながら学力向上を目指す。

ア) 教師：生徒の学習意欲を高めることを重視する。参加型授業（言語活動）を展開し、「考える・分かる・力がつく」授業の工夫と改善を行う。

※教員相互で授業を参観できるよう公開授業を行う教師の割合：100%

※授業内容の理解を促進する課題を計画的に出す割合：65%

イ) 生徒：自ら進んで学習に取り組み、家庭学習及び読書の習慣を身に付ける。

※家庭学習を1時間以上行う割合：60%以上

※授業規律の確立：挨拶・整容、ベル着100%、課題等提出物100%

※授業内容が分かると答える生徒の割合：80%

※基礎力確認調査の英語・数学・（国語）の目標正答率：60%

※読書を通じて豊かな人間性を育成する。月に1冊以上図書館の本を読む。

ウ) 商業に関する基礎科目を定着させる。各小学科ごとの目標達成に向けた計画的な授業を展開する。

※教科学習目標の達成：「何が身についたのか」をしっかりと検証する。生徒自らが目標とする検定合格や資格取得などに挑戦させる。

※各種上級資格や商業に関する競技会への積極的な挑戦：2・3年生は上級資格に挑戦し、卒業までに1種目は1級（上級）に合格する。80%以上

② 生徒指導の充実：創立99年の歴史と伝統を継ぎ、愛校心とプライドを身に付ける。生徒が主体となって活動できる学校を目指す。

ア) 生徒会活動や部活動、ボランティア活動の活性化を推進する。

※部活動積極的参加90% 生徒会活動の満足度80% ボランティア活動参加率80%

※県大会ベスト8以上の上位進出に5つ以上の部となる結果を残す。

イ) 道徳教育を推進し、豊かな心を育む教育の充実を図る。

※「自分にはよいところがあると思う」…70%

※「人の気持ちが分かる人間になりたいと思う」…100%

ウ) 生活指導や交通安全指導の徹底を図る。

※交通事故を含め指導案件0件

エ) お互いが尊重し合って学校生活を送ることができるよう、いじめが起こらない健全な生活を支援する。

※いじめを許さない環境づくり、対応マニュアルの実行、アンケート、校内研修の実施等を学校評価とし、実効あるものとする。

③ 進路指導の充実：進路目標達成に向けて、キャリア教育を推進する。

ア) 将来の自分を見据えた進路指導を行う。

※3年生の進路達成率100%

イ) 全教職員参加による組織的な進路指導を展開し、就職先や進学先のよりよい選定を十分に検討して生徒の進路実現を達成する。

ウ) 1・2年生の三者面談を前後期2回実施する。生徒の自己実現を叶えるため生徒・保護者・教員が連携し、きめ細かい指導を行う。

エ) キャリア教育の充実

※FP講習会の実施（1・2年生）、インターンシップの実施（2年生）

宮商デパートの充実（1・2・3年生）…顧客満足度100%

④ 復興教育の充実：いきる・かかわる・そなえるの実践

ア) 非常時災害時に備え教職員の役割と校内体制や設備環境の改善充実を図る。

※AED、救急対応訓練の実施 教職員受講率90%

イ) 東日本大震災からの復興を担う人材育成を進める。生徒面談を計画的に実施するなど生徒個々の教育的ニーズを把握し、指導・支援に努める。

※健康教室、各種講演会等の生徒満足度80%以上

ウ) 防災意識の向上を目指し、様々な機会を捉えて防災教育を実施する。

※防災に係る講演会や具体的な研修機会を実施し、全生徒が受講する。

（1年生 災害対応シュミレーション 2年生 修学旅行安全計画

3年生 防災に係る講演会）

⑤ 学校評価の結果を踏まえ、学校運営の改善に取り組み、学校としての目標が達成できるような教育活動を実現する。

ア) 平成31年度創立百周年に向けて本格的に準備する。

イ) 生徒を考え意識した学校運営の推進を図る。

ウ) 学校Webページやメール配信を活用した学校情報の提供を充実させる。

※学校メール週1回の配信と加入率向上を図る。Webページの随時更新。

エ) 教職員のチームワークを重視し、情報共有や改善提案など組織的、計画的に取り組む。

オ) よりよい積極的な授業や業務を行うため、必要な研修へ積極的に参加し、高い専門性と確かな知識、指導力を身につける。